

## 18. 不定詞・I'm glad to hear that.

どう思ったかな？

目標：タスクを通じて感情を表す不定詞の意味や用法を理解し、やりとりの中で使うことができるようになる。

対象：中学3年生

時間：20分

準備：ワークシート、パワーポイント

### このタスクの進め方

#### ○Pre-task

1. 教師が生徒にある2人の会話を聞かせ、生徒は、それぞれの会話の内容について最終的に良い結果の場合は○、良くない場合は×を書き入れる。

(例)

1. A: I made tapioca, but I put water too much.

However, when I put tapioca into mango juice, it tasted great.

B: I'm glad to hear that.

2. A: I touched a hedgehog, Mochiko. However, she was too active, so I couldn't take good pictures. B: I'm sorry to hear that.

3. A: What's on her back? B: It's a price tag. I told her about the tag, and we became friends.

A: I'm happy to hear that.

4. A: It was rainy when I went to Tokyo Disney Sea, but I could see Daisy,  
She posed in front of my camera.

B: I'm glad to hear that.

2. Step 1 の答え合わせをした後にもう一度英文を読み、生徒は聞こえた方に丸をつける。  
答え合わせをした後に英文をリピートさせる。

3. それまでのステップを踏まえて、感情を表す不定詞の意味や使い方に気づかせる。

#### ○Task

1. 自分にとって嬉しい出来事と残念な出来事を2つずつ英語で書かせる。

2. ボランティアを1人募り、生徒にモデルダイアログの会話をして見せる。

3. 生徒に、感情を表す不定詞を使ってできるだけ多くのクラスメイトと会話させる。

4. 制限時間が終わったら、会話した中で最もリアクションが良かった友達を選ばせる。  
また、会話した中で気に入った文を書かせ、その後それらを共有させる。

### ワンポイント・アドバイス

・会話においてリアクションをする際には、表情やジェスチャーを意識して取り組ませることで、感情を表す不定詞を使うことにより慣れさせる。

(渡邊実桜)